

公益財団法人宮崎文化振興協会

平成29年度 定時評議員会議事録

1. 日 時 平成29年6月28日(水) 14時00分～15時40分

2. 場 所 宮崎市宮崎駅東1丁目2-7 宮崎市中央公民館 会議室

3. 出席者 評議員現在数 5名 定足数 3名

評議員出席 田村俊彦 外山與子 石川千佳子
二見俊一 以上4名
(定款第17条第2項の規定による定足数を充足)

理事出席 井上雄二 園田真吾 以上2名

監事出席 木下尚典 酒匂俊宏 以上2名

同席者

(公財)宮崎文化振興協会事務局次長兼経営戦略課長 有水久美 他7名
計 16名

4. 議案 第1号議案 平成28年度事業報告について
第2号議案 平成28年度決算の承認について
第3号議案 理事の選任について

5. 議長選任の経過

司会が開会を宣した。次に、定款17条第2項により会が有効に成立していることと、定款第20条第2項に基づき、出席した評議員と理事全員が議事録署名人になることを告げた。

続いて、議長については、定款第19条第4項により評議員で互選し、田村評議員が議長を務めることとなり、議長の進行により議案の審議に入った。

6. 議事の経過要領及びその結果

議長は、次の3議案について審議した。

(議案)

第1号議案 平成28年度事業報告について

第2号議案 平成28年度決算の承認について

議長の求めに応じて、第1号議案と第2号議案の説明が続けて行われた。

平成28年度事業報告及び決算の承認について事務局から説明があり、続いて酒匂監事より、会計処理が適正であり、財務諸表等が協会の財産及び損益の状況について、適正に示していると認める旨の監査報告があった。

本議案に関連して次の質疑応答があった。

(石川評議員) 佐土原歴史資料館の利用者数が減っているとのことだが、これは開館日数の減少の影響なのか。また、その他の館での個人の来館者数の増について、内訳とか原因がわかるか。

(事務局) 佐土原に関しては5月の花しょうぶまつりの時期が全体来館者数の2割くらいに上る。イベントに来る人数が年によって変動するため、その影響は大きい。土日と特定期間の開館は平成29年度からで、開館の日数は28年度は前年と同じく平日も開館していた。

(理事長) 昨年度の花しょうぶまつりは雨で来館者数が減ったのでその影響がある。

(吉原館長) 天ヶ城の入場者数は桜の開花時期に左右されるところがあり、開花時期が3月になるか4月になるかで年度の入館者数が変わってしまう。みやざき歴史文化館の入場者数は歴史館の機能移転のうわさもあったのでその影響もあるのではないかと思われる。

(外山評議員) 科学技術館について、教育利用以外で訪れる中学生の人数のカウントはできているのか。また、入館者数の子供の中で中学生の人数は出せるのか。一日子ども館長という事業に関して、科学に興味を持った生徒が体験をする機会があるのか。宇宙にかかわる仕事はどういうのがあるかを科学技術館で調べることができるのか。

(事務局) 年齢別の内訳は出ないが、中学生の利用は少ないと思われる。中学生の集客に関しては全国の博物館で問題となっている。7月29日に宇宙飛行士を招いて講演会を行う。一日子ども館長の対象は小学生のみ。職場体験に関しては様々な中学校の生徒が来ており、インストラクターやプラネタリウムの業務の手伝いなどの体験をしてもらっている。昨今の中学生は忙しいのだが、土日を利用して講座等をしているのでそれに参加するなどしてもらおうとよい。

第1号議案は、報告事項であり審議を終えた。

第2号議案について、審議後、議長が諮ったところ、特段の異議もなく、満場一致で可決した。

第3号議案 理事の選任について

事務局から、中別府理事の辞任に伴い次期理事の選任について候補者の略歴をもとに説明があった。審議のうえ、議長が諮ったところ、特段の異議もなく、満場一致で可決した。

(新任) 中山 隆

なお、任期は選任された日から平成30年度定時評議員会の終結の時まで。

その他について

事務局から、宮崎科学技術館・宮崎市歴史資料館・大淀川学習館の宮崎市指定管理者の申請の結果について報告を行った。

以
した。

上
な
理事

平

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時40分に司会が閉会を宣し、解散した。

上議決を明確にするため、本議事録を作成する。
なお、以上この議事録が正確であることを証するため、出席した評議員及び出席した理事は次のとおり署名する。

平成29年 7月 20日

公益財団法人宮崎文化振興協会 平成29年度 定時評議員会

議長
評議員

田村 液彦

評議員

石川 千佳子

評議員

外山 興子

評議員

二見 俊一

理事

井 二 雄二

理事

園 田 真 吾